

GIFU

International Exchange News
国際交流ニュース

vol
40

Grassroots
草の根レベルの

Friendly
友情と

International
国際的な

Understanding
理解を求めて

Published by the International Affairs Division Gifu City Hall, 2004

発行/岐阜市市民参画部国際室 〒500-8701 岐阜市今沢町18 TEL 058-265-4141 (ext.6181,6182)

編集/(財)岐阜市国際交流協会 TEL&FAX 058-263-1741



▲姉妹都市カンピーナス市(ブラジル)を初めて訪問する細江岐阜市長一行到着時の様子

Contents

- 特集1 岐阜市長のアメリカ・ブラジル訪問…………… 2
- 国際交流の歩み…………… 4
- 特集2 ボランティア研修会…………… 6
- 特集3 中国・杭州国際観光商品博覧会…………… 7
- 特集4 柴田さんモザイクプロジェクトに参加…………… 8

特集①

岐阜市長・岐阜市議会議長が 姉妹都市シンシナティ市【アメリカ合衆国】

平成15年10月19日～20日、ニューヨークで開催された織部・アメリカ展参加に先立ち、岐阜市長・岐阜市議会議長がシンシナティ市を訪問しました。シンシナティ市長、シンシナティ教育長と会談し、岐阜市の行政改革の参考とするために米国行政制度の研究を推進してゆくことや、岐阜市民の英語コミュニケーション能力向上を目的とした教育交流プログラムを立ち上げることなどが協議されました。



■シンシナティ教育長との会談



■シンシナティ市長
チャーリー・ルーケン氏との会談



■トール・スタックス



■国際友好公園



■シンシナティ・チルドレンズ・ホスピタル視察

この春にオープンし、シンシナティ市の各姉妹都市出身国(7か国)から、芸術家が共同で陶壁画を作成したモザイクプロジェクト(詳細は特集4)が実施された国際友好公園、4年に一度の大フェスティバル「トールスタックス」、来年度に岐阜市内の医療機関と医療情報技術交流を実施する予定であるシンシナティ・チルドレンズ・ホスピタルを視察しました。

また、シンシナティ岐阜姉妹都市委員会をはじめ、シンシナティ市の中で、姉妹都市交流を推進している市民団体の方や岐阜城ライオンズクラブと姉妹関係にあるシンシナティ・ホストライオンズクラブのメンバーの方など大勢のシンシナティ市民のみなさんと友情を確かめ合い、市民交流の活発化を誓い合いました。



■ウエルカムパーティー



■平和の鐘の前で

シンシナティ市



シンシナティ市は、アメリカ合衆国オハイオ州にあり、人口約36万人。市内にはオハイオ川、アダムス山(丘陵)があり、岐阜市と同じように水と緑に恵まれた美しい都市です。岐阜市との姉妹関係は、今年5月に満15周年を迎えましたが、これまでは音楽や演劇など文化交流を中心に両市の市民間で活発な交流が行われてきました。



▲シンシナティ市の街並み▲

カンピーナス市【ブラジル連邦共和国】を訪問

アメリカに引き続き、岐阜県人ブラジル移住90周年記念式典に参加するため、ブラジルへ渡りました。式典のあとに姉妹都市カンピーナス市を訪問しました（平成15年10月28日～30日）。岐阜市との姉妹関係は今年で21年目となり、大勢のみなさまから、熱烈な歓迎を受けました。まず、空港に到着して間もなく、平成14年12月に岐阜でフレンドリーコンサートのため来日したカンピーナス管区サンパウロ州軍警察音楽隊のみなさまより、吹奏楽の演奏で迎えていただきました。また、平成13年8月に、岐阜市民とカンピーナス市民の姉妹都市交流の拠点施設として体育館を完成させたカンピーナス日伯文化協会において、過去20年間の交流事業に携わったカンピーナス市民の方が大勢集まってくださいました。



■空港到着後、音楽隊の熱烈な歓迎を受けた。



■カンピーナス市長、市議会議員、姉妹都市交流関係者との間で、今後の交流について活発な意見交換が行われた。



■徹明小学校及び藍川中学校の友好学校であるリオブランコ学園で



■カンピーナス日伯文化協会における歓迎会
過去20年間の交流事業に携わったカンピーナス市民のみなさんが大勢集まってくださいました。



■カンピーナス市議会において、岐阜市長及び岐阜市議会議長が演説した後、カンピーナス市議会より、これまでの友好関係発展の貢献に対し表彰を受けた。

水道公社や青果市場などカンピーナス市の行政施設、徹明小学校と藍川中学校の友好学校であるリオブランコ学園を訪問し、また、カンピーナス市長と3時間以上にわたり会談し、今後の交流について、また、行政について学び合える点などについて意見交換を行いました。カンピーナス大学に対しては岐阜市の環境行政推進への協力をお願いしました。ブラジルでは自動車燃料などにサトウキビから作ったアルコールを利用するなどバイオマスの利・活用面で先進的な取り組みが行われています。

カンピーナス市



カンピーナス市は、ブラジル連邦共和国サンパウロ州にあり、人口96万人、研究期間や先端技術産業が集積し、サンパウロ市と共にブラジル経済の中心地域を形成しています。中心市街地であっても、街路樹が豊富で、また、路上のゴミが少なく、潤いあふれる街並みを形成しています。



▲カンピーナス市の街並み▲



国際交流 のあゆみ

《2003年8月～11月》

岐大留学生に支援金を贈る (8月5日)

岐阜南ライオンズクラブ(葛西栄二会長)は黒部ダムなどを見学する岐阜大学の外国人留学生に支援金10万円を寄付した。同クラブは留学生に対して毎年、通学用自転車を20台贈っているほか、奨学金を支給している。

韓国大邱市学生訪日団が 岐阜市を表敬 (8月6日～11日)

かねてより岐阜市と交流のある韓国・大邱市より韓国大邱市学生訪日団(団長徐彰教韓日親善交流会会長一行11人)が細江市長を表敬、また岐阜市の施設を参観した。大邱市とは、かんがい用ため池建設に尽力した岐阜市出身の水崎林太郎氏がこの地に埋葬されていることから両市の交流が始まった。

イタリアを語る (8月20日)

「イタリアの風」(岐阜CI研究会主催)と題したトークショーが岐阜市役所で開かれた。スローライフ運動の発祥地であるイタリアに焦点をあて、イタリア人のピアージョ・クリスティアーノさんらを招き、スローライフをテーマに話し合った。



杭州市少年科学院代表団来岐 (8月24日～28日)

岐阜市の友好都市中国・杭州市より杭州市少年科学院代表団(団長澤民杭州市青少年活動センター理科指導チーム長一行12人)が来岐し日本の科学技術の研修を行った。こ

の学院は岐阜県内の長瀬会(長瀬登会長、29社)が1988年に青少年の発明奨励を目的に「杭州青少年科学技術振興財団」として杭州市に設立したもので、多くの科学技術を学ぶ学生を教育している。

フランスで親善野球試合 (8月24日～30日)

少年軟式野球国際交流協会岐阜支部(関谷勉支部長)の呼びかけに応じた岐阜市内の軟式野球の代表チーム(津田勇夫監督一行12人)が、フランス北西部のブルターニュに滞在し、現地の少年野球チームと4試合、またサッカーの試合など交流が行われた。

自作の漢詩と再会 (8月25日)

中国山東省・臨朐県の鐘耕民県長が岐阜市を訪れ、岐阜城とJR岐阜駅に飾られている自作の漢詩と再会した。昨年6月来岐した折、岐阜城と長良川の鶉飼に感動し、詠まれ、書いたもので、同省に合弁集荷場をもつ岐阜市の中卸会社の藤井英治会長を通して岐阜市に寄贈した。

中国・大連市より視察団が来岐 (9月5日)

中国・大連市金型視察団(団長邢良忠大連市副市長一行12人)が岐阜市の金型メーカーの招きにより、金型メーカーの実態調査のため来岐した。細江市長との会見では金型の実情と大連技術開発区の現状や岐阜市の企業誘致の可能性などについて語った。

外国人指導者迎える (9月7日)

県のスポーツ国際交流員事業は、5年前から競技力のレベルアップを図るため実施。全国大会などで上位入賞が期待される競技種目を選び、このたびはバドミントンのマデ・チャンドラ・ベラタさん(インドネシア)、フェンシングの李俊錫さん(韓国)が指導員として迎えられた。

オペレッタ“こうもり”を公演 (9月11日)

270年の伝統を持ち、オーストリアで最も古い劇場のひとつ「バーデ

ン市立劇場」が、ウィーン近郊のバーデンの町を舞台に優れた音楽技法と物語のおかしさで「ウィンナオペレッタの最高傑作」といわれる喜歌劇「こうもり」(ヨハン・シュトラウス作曲)を長良川国際会議場で公演した。

スリランカ訪問の女性派遣団 (9月25日～10月2日)

岐阜県が実施した女性海外派遣事業に参加した人が中心となり、国際親善と女性の地位向上などを目的に平成3年に結成された「落の会」(河合雅子会長 会員130人)はこれまで中国や韓国を訪問して交流をしてきたが、今回はスリランカの学校や病院を訪問し交流をした。

豪州で桜道造り (9月30日～10月6日)

世界各国で桜の植樹を続けている「岐阜さくらの会」(川島和男会長)はオーストラリア・クイーンズランド州・タンポリンマウンテンボタニカルガーデンに30本の桜を植えて桜道を造り、またアデレード市にも6本植えた。同会の海外植樹は15カ国目で今回は会員41人が参加し、植樹を通して現地の人達と交流、ふれあいの輪を広げた。

国際情報コーナーを 設置しました!

岐阜市は外国人市民との共生や国際交流活動の活発化を目的として、ハートフルスクウェアG内に国際情報コーナーを設置しました。これまで岐阜市役所本庁舎ロビー、南庁舎国際室の窓口などでの情報発信をしてきましたが、法務省入国管理局出張所のオープンや日本語学習のため、ハートフルスクウェアGへの来場する外国人が増加していることに対応するものです。



平和を願いスペイン歌曲 (10月3日)

チャリティーコンサート「スペイン歌曲の夕べ〜この世界に平和と愛とほほえみを!〜」(県スペイン友好協会主催)がサラマンカホールで開かれ、名曲が聴衆を魅了した。同協会は1998年に設立、本場のスペイン歌曲を楽しんでもらおうと今回初めてこの企画をし、収益金の一部を「国境なき医師団」に寄付した。

杭州市に職員を派遣 (10月9日~12月8日)

岐阜市は約2ヶ月間、商工観光部 鶏飼観覧船事務所熊谷武夫主任を岐阜市の友好都市である中国・杭州市へ派遣した。両市は1979年友好都市提携を締結し、以来各分野における交流がなされてきたが昨年11月、細江茂光市長が杭州市を訪問した折に両市職員の派遣を提案し賛同を得た。本年度は試行的に実施し、アパレル産業の市場調査、中国からの観光客誘致の可能性などを調査した。

ワールドふれ愛ゲーム開催 (10月12日)

岐阜メモリアルセンター・ふれ愛ドームにおいて“ワールドふれ愛ゲーム”が開催され、ステージや国際交流団体の各コーナーにおいて子どもから大人まで多くの人がゲームやパフォーマンスを楽しんだ。

校舎をプレゼント (10月20日)

加納ロータリークラブ(松永英雄会長)の創立25周年記念事業の一つとして会員が積み立ててきた400万円を寄付したカンボジア・タケオ州の小学校の新校舎完成に伴い、贈呈式が行われた。クラブからは13人が参加し、児童たちの熱烈な歓迎を受けた。

杭州市へ4台目の パッカー車を寄贈 (10月16日~20日)

中国・杭州市の荣誉市民である中島清掃(株)の社長中嶋岨さんがごみ収集に使用するパッカー車を中国・杭州市に寄贈。杭州市の環境美化に役立てればと1988年に1台目の車両を、その後5年ごとに寄贈し今回

は4台目。11月6日細江市長に報告の席で、杭州市を訪問した際、「日中友好」と書かれたごみ収集車が杭州市市内を走るのを見ると大変嬉しいと語った。



「長良合唱団」がモスクワで公演 (10月21日)

長良高校コーラス部員と同高卒業生でつくる「長良合唱団」がロシアのクラシックの殿堂モスクワ音楽院で公演をした。「長良合唱団」は同部顧問の澤島富雄さんの呼びかけにより1990年に結成され、海外公演はハンガリーのブタペスト以来5年ぶり。モスクワ公演には26人が出演し、平和への祈りをテーマに歌った。

ラグビーで日仏交流 (10月24日~31日)

岐阜日仏協会が1996年以来交流を深めるフランシュコンテ地方ブザンソン市の近郊ジュラ市で活動するアルポア・ラグビーチームが来日。年昨、岐阜のマスターズ・ラグビーチーム「岐阜惑惑倶楽部」のメンバー有志が渡仏し交流したが、相互交流ということで今年はアルポアチームが来岐し親交を深めた。

盛大にギフコリア・ハンマダン (11月3日)

県内に住む韓国と北朝鮮の人たちが親睦を深めるイベント「ギフコリア・ハンマダン(一つの広場)」(同実行委員会主催)が市文化センターで開かれ、約千人の参加者が民族舞踊などを楽しんだ。このイベントは2000年の南北首脳会議による「6・15共同宣言」を受け、在日本大韓国民団県地方本部と在日本朝鮮人総連合会県本部が一昨年から実施されている。

中国・杭州市で特別展を開催 (11月17日~21日)

岐阜県書道家友好訪中団(安藤秀川団長一行15人)が中国・杭州市

の書や篆刻で有名な西冷印社創立100周年記念式典に出席のため同市を訪問し、特別展を開催。特別展には県書作家協会(伊藤天游会長)の会員による漢字、仮名、篆刻などの作品134点を展示した。



友好病院の80周年式典に参加 (11月16日~20日)

岐阜市民病院は友好病院提携をしている中国・杭州市の杭州市第一人民医院の創立80周年記念式典と医院増設落成式に出席のため、岐阜市民病院友好交流団(団長伊藤隆夫院長一行6人)を杭州市に派遣した。訪問団は医院において看護、乳がん治療、病院管理などについての学術交流を行った。

ウィーン・フィルの“ドリーム・コンサート” (11月18日)

岐阜日仏協会は第16回例会で、ウィーン・フィルのトップメンバーを招き“ドリーム・コンサート”をクララザールで開催。ヴァイオリンのペーター・ヴェヒター氏ら4名と、ピアノにヒロコ・サガト氏のピアノ五重奏でベートーヴェンの七重奏を披露し、華麗な音色が参加者を魅了した。

岐阜市の新しい 国際交流員が着任

前国際交流員の任期満了に伴い、新しく米国・オハイオ州・コロンバス市出身のジェニファー・カーペンターさんが着任しました。大学時代に専攻した日本文化や国際政治、また、日本(京都)での留学体験を活かし、岐阜市の国際交流推進に貢献したいと思います。よろしくお願ひします。



■ ボランティア研修会

わたしのまちへようこそ!

～外国人への我がまちの紹介方法、観光通訳ガイドの現場から～を開催

自分が住んでいる地域や文化を外国人に紹介するコツ、ホスピタリティ、観光通訳ガイドのコツについて市民の皆さんに学んでいたこと、岐阜県、愛知県を中心に通訳ガイドとして第一線で活躍する熊澤真紀子さんを講師に迎え、ボランティア研修会「わたしのまちへようこそ!～外国人への我がまちの紹介方法、観光通訳ガイドの現場から～」を平成15年9月28日(日)13時30分からJR岐阜駅東のハートフルスクエアG中研修室にて開催しました。「日本の屋根瓦の色はなんでねずみ色が多いの?」という外国人の質問には、どう受け応えたら良いのかなど、参加したボランティアの皆さんからは、普段の活動から生まれる疑問点が多く寄せられました。建築素材はその国の風土・文化が反映されることを前提に解説するなど、プロとしての経験を踏まえた先生のアドバイスに熱心に耳を傾けていました。



■ ボランティア活動の中で感じている疑問点が数多く寄せられた。

今回の研修会は定員を50名としましたが、ほぼ募集と同時に満員となり、みなさんの関心の高さを感じました。愛知万博開催まであと2年足らずとなり、岐阜市並びに岐阜市国際交流協会としても、国際観光都市としてのまちづくりへの取り組みを進めたいと思います。岐阜市役所一階ロビー、岐阜市役所国際室前、ハートフルスクエアGの情報コーナーには今回の研修の教材にもなりました外国語観光パンフレットを配布しております。是非ご活用ください。

特集③

「中国・杭州国際観光商品博覧会」に出展 岐阜市の観光や産業をアピール

平成15年10月10日～13日



■「西湖西進プロジェクト」により生まれ変わった西湖

「岐阜市・杭州市産業交流推進委員会」(委員長薫田大二郎岐阜市助役)と岐阜市が共同で岐阜市の観光とオリベ、オリベスクなど岐阜ファッションを展示。ブースには連日多くの市民や業者が訪れ、特に杭州市の服飾関係者の興味を引きました。岐阜市からは杭州・西湖博覧会訪問団(団長薫田大二郎岐阜市助役一行5人)と岐阜婦人子供服工業組合松原一廣理事長ほかファッション連合会青年部が博覧会の諸行事に参加及び杭州市のファッション市場の視察をしました。この何年間、経済発展の目覚ましい中国ですが、杭州市も同様に市内の都市づくりや、市民の顔は生き生きと自信に満ちています。また、昨年来の「西湖西進プロジェクト」が完成し、新たな魅力が付加された西湖は国内外の観光客で溢れていました。

岐阜市の友好都市である中国・杭州市で10月10日から13日まで「杭州国際観光商品博覧会」が開催されました。博覧会は2000年より杭州市が毎年開催している「中国杭州西湖博覧会」の一環で、岐阜市は毎年この博覧会において、伝統産業や両市の交流のあゆみ等を紹介してきました。



■開会式で薫田助役があいさつ



■岐阜のブース

特集④

柴田育彦さん(陶芸家)が米国の姉妹都市シンシナティ市のモザイクプロジェクトに参加されました。

柴田さんは、日本代表としてモザイクプロジェクト実行委員会から選抜された陶芸家です。6月27日に日本を出発し、約1か月間、シンシナティ市民の家庭にホームステイしながら、7か国の芸術家とともに陶壁画を作成し、またシンシナティ市民を対象とした陶芸教室や日本文化理解講座の講師を務めました。



柴田さんの感想

「初めての経験で不安もありました。また、自分が日本代表であると岐阜市の方やシンシナティ市の方から呼ばれるたびに大きなプレッシャーを感じていましたが、二度とないチャンスを逃さないように、成功させたいと強く願いました。結果、良い仕事が出来、また、岐阜とシンシナティの姉妹都市関係の発展に貢献することもできました。プロジェクト参加を通じて大きく進歩できた気がしています。国際的な意味でもとても勉強になりました。」

● ● ● モザイクプロジェクト ● ● ●

シンシナティ市の各姉妹都市所在国・地域を代表する芸術家がシンシナティ市に集い、この5月にオープンした国際友好公園 (Theodore M. Berry International Friendship Park) のパビリオン円柱を約1万5千個のタイルによりモザイク陶壁画を共同制作するものです。

シンシナティ市は、海外に7つの姉妹都市を持っています (ハラレ・ジンバブエ、カルキブ・ウクライナ、柳州・中国、ミュンヘン・ドイツ、ナンシー・フランス、台北県・台湾、岐阜・日本)。柴田さんは日本を代表する陶芸家として、シンシナティ市から選抜されました。



▲モザイクタイルを張り付けた後のパビリオン円柱



◀作品も完成に近づいた頃に開催されたワークショップ。7か国の芸術家と共に毎日、9時から5時まで作業をしていたシンシナティ大学芸術学部研究室



▲柴田さんら芸術家を講師として開催されたワークショップ。テーマは「表現の自由」パビリオンにて



▲プロジェクト関係者やホストファミリーとのピクニック (シンシナティ市内の公園にて)